

例会報告：2012年11月27日（曇り）第1776回年通常例会

◆ 新会員入会式

高橋 哲也さん
昭和49年3月8日生まれ
ジブラルタ生命保険会社 小田原支部



◆ 奥様誕生日

清 登美子さん（12月3日）

◆ ゲスト

剣持 万紀子さん（小田原城北RAC）

◆ ニコニコ箱

剣持 悟 委員

	ニコニコ箱	累計	目標
11月20日分	9,000	468,500	1,300,000

*奥様誕生日

清 康夫さん…①妻の誕生日祝い有難うございます。結婚して47年、今迄病気せずとても元気で、昨年よりスクエアダンスを初め毎週土曜日に練習に行っております。お互いに健康に注意してこれからも元気に過ごしたいと思います。

②小田原税務署の調査が11月20日より3日間3人で来ていろいろ調べられましたが、何事もなく終了しました。22日は母の命日でしたので、朝5時起きして富士宮にお墓参りに行き、9時半には帰ってきました。気分もすっきりしました。税務署の人達もびっくりしていました。

*その他

石内 正彦さん…新会員、高橋哲也様ご入会おめでとうございます。小嶋会長1人目です。目標へ第1歩が刻めました。

小林 和彦さん…先週末、お休みを頂いて脳ドッグに行ってきました。頭の中の血管を3Dで見せられました。あと5年は大丈夫との事。安心しました。

大木 清さん…連続して例会を欠席しましたので、少々ですがニコニコへ。

■ ■ ■ 今後のメーキャップ情報 ■ ■ ■

-2012年12月-

- ▶ 5日(水) 小田原北 報徳会館 12:30
「年次総会」
- ▶ 6日(木) 小田原中 報徳会館 12:30
「クラブ協議会/クラブ研修について」
- ▶ 7日(金) 湯河原 ニューウエルシティ湯河原 12:30
「クラブ年次総会」
足柄 おんりーゆー 12:30
「クラブ協議会（年次総会・次年度理事・役員選出）」
- ▶ 10日(月) 小田原 湯本富士屋ホテル 17:30 M.U.受付なし
「年末会員家族親睦会」
- ▶ 11日(火) 箱根 宮ノ下富士屋ホテル 12:30
「卓話:杉山幹雄会員/榎和心亭豊月代表取締役」
- ▶ 12日(水) 小田原北 報徳会館 12:30
「卓話:草山弘道様(秦野中RC)/地区財団補助金推進委員長」
小田原城北RAC マロニエ204 19:30
「卓話:新会員の羽生さんのイニシエーション・スピーチ」
- ▶ 13日(木) 小田原中 大磯プリンスホテル 18:00 M.U.受付なし
「年末会員家族親睦会」
- ▶ 14日(金) 湯河原 ニューウエルシティ湯河原 12:30
「卓話:高杉尚尚会員/㈱エス・シー・リビング代表取締役」
足柄 いこいの村あしがら 18:30 M.U.受付なし
「クリスマス家族親睦夜間例会」
- ▶ 17日(月) 小田原 報徳会館 12:30
「クラブ協議会/半期中間報告」
- ▶ 18日(火) 箱根 宮ノ下富士屋ホテル 18:00 M.U.受付なし
「クリスマス家族会」
- ▶ 19日(水) 小田原北 湯本富士屋ホテル M.U.受付なし
「クリスマス例会」
- ▶ 20日(木) 小田原中 報徳会館 12:30
「クラブフォーラム/半期報告・委員会報告」
- ▶ 21日(金) 湯河原 ニューウエルシティ湯河原 12:30
「卓話:伊藤伸之会員/伊藤屋旅館社長」
足柄 おんりーゆー 12:30
「卓話」

【小田原城北ロータリー・クラブ】
事務局：〒250-0211 小田原市鬼柳172-9
電話：0465-37-1222 FAX：0465-37-7377
URL：http://www.odawarajhrc.jp
Mail：info@odawarajhrc.jp
例会場：小田原卸センター内会議室
創立：1976年4月2日 承認：1976年5月8日
例会：毎週火曜日 12:30～13:30
クラブ会報委員会
監修：久保田 知子
編集長：須賀 俊和
コピーライター：大川 誠
デザイン：小林 和彦
フィールド：須藤 公司・小楠 雅昭

会員数：48名



国際ロータリー第2780地区

小田原城北ロータリー・クラブ

R.I. DISTRICT No.2780
ODAWARA JOHOKU R.C.
2012-2013
WEEKLY BULLETIN



【R. I. 会長】
田中 作次
【R.I. 2780地区ガバナー】
菅原 光志
【第9グループガバナー補佐】
鈴木 悌介



【会長】小嶋 章司
【副会長】中野 明
【幹事】久保田 知子
【副幹事】大川 久弥
【会場監督】清 康夫

奉仕を通じて平和を PEACE THROUGH SERVICE

本日の例会：通常例会（第1777回）

会場：小田原卸センター内会議室
日時：2012年12月4日 12:30～13:30
司会：大川 久弥 副幹事

12:30	開会点鐘：小嶋 章司 会長 国歌斉唱「君が代」 ロータリーソング斉唱「奉仕の理想」 スピーカーおよびビジターの紹介 新会員入会式 慶事祝福 会長挨拶 幹事報告／出席報告／委員会報告 同好会報告／ニコニコ箱
13:00	担当：執行部 「次々年度会長・次年度役員/理事承認の件」
13:30	閉会点鐘：小嶋 章司 会長

MEMO

今見つめ直そう不易なるものと流行

【今後の例会・卓話スケジュール】

12月11日 通常例会(RC) 12:30
担当：プログラム委員会(小嶋会長)
卓話：小川勝久様(小田原RC会長)
(株)ハイ・テック代表取締役



「青少年交換学生について」

12月18日 忘年家族会 例会17:30 パーティー18:10～

担当：親睦活動(R家族)委員会
会場：ベルルージュ小田原
Performer 「LONDON TRIO」

左から小田原出身のバイオリニスト碓井志帆さん、リチャード・スタッグさん（尺八）、トーマス・キャロルさん（チェリスト）、松村美智子さん（ピアノ）。



12月25日 休会

1月8日 新年例会 17:30～18:00 登録：17:00～
懇親会 18:10～20:00

会場：河鹿荘 会費：10000円
担当：会場監督・親睦活動委員会



RAC
会員募集中
相応しい会員をご紹介ください！

例会報告：2012年11月27日（曇り）第1776回通常例会

会場：小田原卸センター内会議室
時間：12:30～13:30

❖ 会長挨拶

「地獄」

小嶋 章司 会長



近年「いじめ」そして「自殺」子供たちの死に対する考えが問題になっています。絵本の「地獄」がベストセラーになっています。この本の地獄絵は、千葉県の延命寺に所蔵されている絵巻をもとに構成されています。1784年「天明4年」江戸の絵師によって描かれたものですが、作者はわかっていません。地獄絵はいろいろの形

相をもっていますから、見る人によって受け取る意味はそれぞれ異なってくるでしょう。

この本を作った人たちは、この本を見た子供らが「死ぬことは怖いことだ」ということを強く心に刻むであろうと、それを主題に作ったそうです。

小学校2年生の男女34名に絵本を見せ、感想を求めたところ「死ぬのはいやだ。こんな所へいきたくない」と異口同音に答えたそうです。人の死に対する恐れは本能と言われるものでしょうが、それはまた学習によって強められることを日常の経験を通して私たちは知っています。昔の人が医学の未発達なころ、地獄絵を子供たちに見せ死の恐れを語り、行動の自制を求め、生への執着を強めて子孫の維持を計ろうとした。と考えるとこの絵図はその時代の生んだ大いなることの一つだといえます。

今の子供たちは、家族の単位が変化し、医療のあり方が変わって祖父母や兄弟といった、肉親の死に直面する機会がめったになくなりました。昨日役柄の中で死んだ俳優が、別の役で今日出るというテレビから、死ぬということの子供たちはどうとらえることができるのでしょうか。

さらに「科学的にモノを見よ」という教育は「死のこわさ」についてほとんど語る事ができていません。文明は危険な環境を日々ふくらませています。それにひきかえ、「死のこわさ」を学習するチャンスはますます遠のくばかりです。

今私たちが子供にしてやらねばならぬこと、それは、生きることの喜び・楽しさを存分に教え、と同時に自らの生命を尊び、自らそれを強く守るという心を育ててやることでしょう。それはまた、他社への思いやりや生命を尊ぶ心につながっていきます。死を恐れることのない子供が育っていくとしたら、こんな怖いことはありません。



❖ 幹事報告

久保田 知子 幹事



- 1)11月23日開催の、ゆりかご園の酒匂ゆりかご祭に当クラブより1万円のご祝儀を届けました。お礼状が届いておりますので、掲示板に貼っておきます。
- 2)12月4日の例会に、1月のIM開催のご挨拶のご案内ということで、鈴木ガバナ―補佐と伊藤実行委員長がお見えになります。
- 3)高橋さんご入会おめでとうございます。高橋新会員の5人グループは渡部グループです。委員会は親睦委員会になります。奉仕プロジェクト委員会はローターアクト支援プロジェクトになります。
- 4)箱根ロータリークラブの50周年の記念誌が届いておりますので、お返ししますのでご覧ください。
- 5)12月のロータリーレートは1ドル80円です。12月4日、本年度最後の理事会がございますので、理事の方よろしくお願い致します。

❖ 出席報告

中野 明副会長

出席報告	会員数	出席	M.U	出席率
11月27日	49(47)	36	0	76.6%
11月20日	48(43)	38	1	86.05%
11月13日	48(45)	35	3	86.67%

【欠席者】 11名
 菊地 義雄、杉崎 勝成、須津 公司、井上 寛、西 寛、中村 維孝、石橋 徹、田代 博信、須賀 俊和、齋藤 永、小楠 雅昭
 【今回MU】 0名
 【前回MU】 増加なし
 【前々回MU】 増加なし

❖ ローターアクト報告

剣持 万紀子会員



当クラブは8月に会員が1人増え9人になっております。さらに増えるように来年も頑張っていきたいと思っております。例会のご案内ですが、12月1日に忘年会を行います。多数のご登録をいただきありがとうございます。12月12日、マロニエにて定例会を開催いたします。時間は19時30分です。こちらの内容については来週ボックスに入れさせていただきます。よろしく申し上げます。

❖ Table Flower

- 金魚草
- マトリカリア
- アネモネ

金魚草の花言葉は、「清純な心」「快活」
 マトリカリアの花言葉は、「集う喜び」「楽しむ」
 アネモネの花言葉は、「清純無垢」「無邪気」

❖ 卓話

「財団国際親善奨学生として」

2006～7年度足柄RC推薦元国際親善奨学生
現ロータリー財団学友 柳川 浩三様



今日は、まず皆さんに感謝の言葉を申し上げたいと思っております。私がロータリーから奨学金を頂いたのは7年前なのですが、26000ドル相当のお金を頂いてイギリスに行かせて頂きました。私はその時高校の教師をしていたのですが、留学にあたっては学校を休まなくてはならず、当然その間の給料は出ません。

妻1人子供が2人いたもので当然金銭的なサポートが必要でした。そんな時ロータリーの奨学金があるという事を聞き申し込みさせて頂き、足柄RCからの推薦で行かせて頂きました。本当にありがとうございました。

まず簡単な自己紹介ですが、私は蛭田駅の近くで生まれ、育ちました。大学を出てすぐに県立高校に勤務しました。教科は英語です。最初は平塚工業高校でした。そこに5年ほどおり、小田原の城北高校に転勤をしました。そこには11年ほどおりました。その後は小田原城内、伊勢原、大和西、小田原高校と全部で6校経験して、おとし退職致しました。

その間授業も一生懸命やっておりましたが、剣道部の顧問としても生徒と一緒に汗を流してきました。今は法政大学理工学部というところにお世話になっております。早稲田大学でも非常勤講師としてお世話になっております。

まず私が留学する前に色々な奨学金を調べさせていただいたのですが、ロータリーの奨学金が強いのはこの4つかなと思えました。一つ目は現地での人的サポートが充実。お金だけ出して後は勝手にやりなという奨学金が多い中で、ロータリーの奨学金は向こうのロータリアンの方が非常に私の事を可愛がってくださいました。

もう一つが、現地での留学生（ロータリーの奨学生）同士のネットワーク。私が行ったのは9月でしたが、9月に入って2週間位、直ぐにイギリス全土に来ているロータリーの奨学生の集いというのがありました。そういう中で人的ネットワークが広がりました。

もう一つは帰国後、2780地区にだけに限らず横浜、川崎の2590地区等の学友と一緒に学友のネットワークも強固な結びつきがあります。この2つに加えて家賃と学費はまかなえました。

通常の奨学金には35歳までとかロータリーは年齢制限が無く、私はその時40歳になっていましたので足柄から申し込みをさせて頂きました。行ってどうだったのかというと、3つ良い事がありました。まず一つは、自分が精神的に成長した、それと共に自身が少し芽生えてきたような気がします。

2番目はロータリーの国際親善奨学生というのは自分の研究だけではなく、日本の文化を広めたり、異文化に対して自分がどんどん入



っていくという事が要求されますので、自分は剣道を通じて貢献ができたかなと思います。

3点目は研究の発展と博士号の取得ということになります。私のお世話をいただいたのはジョフリーという方です。ロータリークラブの会長もガバナーも経験された方です。御職業はガーデンセンターのオーナーです。国際親善奨学生は15回スピーチをしないという使命があるのです。7か月の滞在で15回やる人はいないので、ジョフリーはすごく熱心で色々私を連れて行って15回やりました。異文化交流の話ですが、向こうにいる間、週に2回剣道の道場に行っていました。皆剣道が大好きで一生懸命やっておりました。冒頭にちょっと申し上げましたが、ロータリーの奨学金は今どうなっているかと2日前にガバナー事務所に問い合わせをしました。そうしたらもう私が行っていたような国際親善奨学金は無いよと、その代りその後継の奨学金としてRI奨学生というのがあるということのようです。

もう一つがロータリー奨学生、こちらはロータリーが使命とする平和と戦争解決、疫病予防、水と衛生など6分野に特化したことを勉強したい大学院生に32000ドル出しているそうです。

ぜひロータリアンの方の引き続きのご協力をお願いしたいなと思います。私は応用言語学という中の言語テストが自分の研究範囲にあります。良く言われるに日本人の英語力は小、中、高、大学まで行って約10年と、長い間やっているのにいまだに英語の力が上がらないのはなぜなのかという話が話題になります。そこで日本人の英語力はどうなっているのかというと、読む、書く、話す、聞くという4技能に分けてみると、どの技能をとっても日本人の英語能力は中国、韓国よりも低いのです。つまり日本人の英語力は相変わらず上がっていないのです。アジアの30か国中ですと日本人の順位は28位です。ちなみに29位はラオス、30位はカンボジアです。

そういう危機を持った文科省が財界の後押しを受け、大学入試センター試験に2006年からリスニング試験を入れる事になりました。その結果どうなったかという事を調べてみました。方法はアンケート調査で、高校英語教師110名、そして高校3年生391名にアンケートを色々としてみました。その結果まだまだリスニングに対し軽視していることがみられました。実際にセンター試験にリスニングが入ったのですが、生徒にリスニングを指導している先生は多くなく、生徒も聞いていない、なぜか。そもそもリスニングの勉強方法を知らないか、リスニングに充てる時間に余裕がない。結果としてリスニング試験の導入は、文科省や大学入試センターが意図したほど波及効果は大きくないということが分かりました。

個人的な見解ですが、それではどうしたら良いのかというと、まず教師はリスニングの勉強方法を生徒に教えてあげる。もう一つはリスニングの勉強が他のスキルよりもプラスをもたらすという事を生徒に教えてあげる。3つ目はリスニングテストの配点を増やす。そして一部の私大でもリスニング試験の導入を検討してもらう。などで徐々に変わっていくのかなと淡い期待を抱いております。

